



市政Hotニュース

日本共産党京都市会議員団

<https://cpgkyoto.jp>

No. 23 2025年 6月 9日

TEL 222-3728

FAX 211-2130

E-mail info@cpgkyoto.jp

5月市会 2つの決議とコメ意見書可決

決議: 沖縄戦の歴史に真摯に向き合うことを求める

北陸新幹線の京都市内大深度トンネルルートへの反対

意見書: コメの価格高騰対策と安定供給に向けた農政改革を求める

市民の声と運動の力

沖縄戦の歴史に真摯に向き合うことを求める決議

決議では、5月3日の西田昌司参議院議員行った、沖縄県のひめゆりの塔の展示をめぐる発言について、「沖縄県民の心を深く傷つけるものと言わざるを得ない」と断言。京都市会として、「京都選出の議員がこのような発言をしたことに強い遺憾の意を表明」し、「沖縄戦の歴史に真摯に向き合うことを求める」としています。

山田こうじ議員が賛成討論をおこない、「西田氏の発言は、沖縄戦の実相をゆがめ、戦没者や戦争体験者を冒瀆し、沖縄県民の尊厳を踏みにじるものであり、歴史を修正しようとするもの」だとして「満身の怒りをもって抗議する」とともに「ひめゆり学徒や沖縄戦体験者の証言をゆがめ、否定する発言について、謝罪し、撤回するよう」求めました。自民党・公明党は反対しました。(決議本文は市会ホームページへ)

北陸新幹線の京都市内大深度トンネルルートへの反対決議

決議では、北陸新幹線の京都市内大深度地下トンネル計画について、市民はもちろん様々な団体や専門家から、問題があり撤回すべきだとの強い意見が届けられているとし、現在の計画を「このまま進めることは、京都市の未来に向けて重大な問題を招く」「京都市内大深度トンネルルートへの反対を表明する」としています。

加藤あい議員が討論に立ち、「5兆円もかけて、30年後の新幹線を延伸するのではなく、最も低コストで現実的なサンダーバードの復活と延伸、暮らしに予算を重点配分する国策こそ求められて」というと主張、反対表明は当然だとし「京都を壊さない」でほしいとの声にこたえる必要があると述べました。自民党・公明党は反対しました。

コメの価格高騰対策と安定供給に向けた農政改革を求める意見書

京都市会では昨年5月市会で「コメの供給不足の懸念に対して適切な対応を求める意見書」を可決しています。意見書では、「本年に入り、ようやく備蓄米の放出を決断したものの、価格高騰の解決には程遠く」「減反政策を含む需給調整による営農継続には限界がきているという危機感の下、農政改革を行うべき」としています。

くらた共子議員が討論し、減反・減産を押し付けてきた農政を批判。主食である米の需給と価格の安定を図るには、増産へ切り替える抜本転換が不可欠であり、価格保障・所得補償、直接支払いを実現するべきだと述べました。自民党・公明党は反対しました。